

一般募集型ボランティアバスの最終運行を無事に行いました。

昨日のボラバス・・・コロナウィルス懸念の中、座席は一人一席、マスク着用、消毒液や休憩時の換気など出来る限りの対応をさせて頂きましたが、それでも批判されても仕方のない運行実施だったかもしれません。

2011年4月29日に全国で初と言われた、茨城県社会福祉協議会様との共催で運行を開始したボラバスはまもなく丸9年を迎える所でした。

これまで世界中から参加頂いた人数は約3万2千人となりました。

そんな中で昨日もご遺族の皆様のご配慮により、大川小学校で活動をさせて頂きました。

到着後ご遺族で伝承の会で語り部活動をされている鈴木様が、大川小学校の事、命の事、防災の事など辛い状況の中で様々な事をお話し頂きました。鈴木様にはこの5年近くの大川小学校での活動の中で、本当にいろいろとサポートを頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして大川小学校での多分最後の作業となる昨日は、最後の片付けとご遺族の方からの依頼もあり、唯一手つかずになっていた校舎内ホールのステージの下の泥かきをさせて頂きました。

今まで何度も校舎内の清掃をさせて頂きましたが、なぜかこのステージの所はそのままにしていました。昨日は劣化した床を剥がして、下にたまった泥をかき出させて頂きました。

これで全ての場所を掃除させて頂く事が出来ました。

大川小学校では来月から震災遺構の保存に向けての工事が始まり、立ち入りが禁止となり、これまで通りに活動させて頂く事が出来なくなり、多分今回が最後の活動となります。

またこれまで活動をさせて頂いた、石巻市や東松島市も復旧、復興が進み、工事の状況などもあり、ほぼ従来のボランティア活動が必要ない状況になってきたように思います。

そのような状況をふまえ、これまで運行を継続させて頂いた一般募集型の宮城県へのボランティアバスの運行を昨日の運行を持ちまして休止させて頂く事になりました。(4月以降にすでに予定されている学校などの貸切によるボランティアバスは調整の上、実施予定)

昨日は様々な想いが込み上げ胸がいっぱいになりましたが、これまで多くの皆様に支えて頂き、大きな問題もなく最後のバスを無事に運行させて頂けた事に感謝の気持ちでいっぱいでした。

(あとは昨日の参加者からコロナウィルスの感染者が出ない事を祈るのみですが)

丸9年間で振り返ればその時々には様々な事が思い出されますが、石巻市大街道地区での住宅の泥出しをさせて頂いた時に20冊以上のアルバムをきれいに拭かせて頂きながら、その1ページ1ページが子供の成長日記みたいに写真にお母さんのコメントが書いてあり、一緒に作業させて頂いた方々と泣きながら祈りながら拭かせて頂いた事、東松島市東名地区で芝桜を植えてきれいに花が咲いてくれた後に、家を流され仮設住宅に暮らしていたおばあちゃんが、泣きながら言ってお下された一言を忘れる事はできません。

石巻 JCOB の木村さんが紹介をして下さった、ご遺族の佐藤和隆さんがご遺族の皆様のご同意をとって下さり、大川小学校で5年近く活動させて頂く事が出来ました事本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

大川小学校で活動させて頂く事により伝承の会の皆様をはじめ多くのご遺族の方々から本当に多くの事を学ばせて頂く事が出来ました。

そしてその事により茨城県の多くの中、高、大学生が、大川小学校で様々な活動をさせて頂き、ご遺族の皆様や地域の皆様から本当に多くの事を学ばせ頂く事が出来ました。

きっと未来そのものである子供達、若者達が、大川小学校の活動学ばせ頂いた事を胸に刻み、未来の命を守っていつてくれると信じます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

丸9年間のボラバスで私自身宮城県に約400日行かせて頂く事が出来ました。宮城県の皆様の温かさとお優しいさを感じ続けた400日となりました。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

様々な場所で様々な活動をさせて頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。

丸9年間、ある時は牡鹿半島の先端鮎川地区まで、どんな場所での活動でも、少ない数でも絶品の心のこもった「絆弁当」を運んで下さった石巻市大徳様にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。絆弁当を楽しみに参加されている人が大勢いました。

本当にありがとうございました。

全国で初めての社会福祉協議会と共催と言う道を開いて下さった茨城県社会福祉協議会様、ボラバスの運行に際し様々なサポートを頂いた茨城県、すぐに駐車場の無料解放を許可して下さった那珂市、様々な協力を頂き側面から応援し続けて下さった地元城里町等、茨城県全体の支援があったボラバスの運行でした。本当にありがとうございました。

立ち上がろう！茨城！日本中の笑顔の為に・・・

立ち上がろう！日本！世界中の笑顔の為に・・・

本当に多くの皆様に支えて頂きました。

様々な学校がボランティアバスに理解を頂き、多くの子供達の参加を促して下さいました。結果約延べ1万人近くの若者がボラバスに参加してくれました。

多くの高校球児達が大川小学校の校舎内を何度も何度も磨いてくれました。被災された方々や大川小学校で亡くなった本当ならば同世代を生きるはずだった子供達を想い、涙を流しながら花を植えたり、草を抜いてくれた多くの女子高生がいました。

茨城大学の学生達はボランティア団体「Fleur」の皆さんの協力もあって、約2千人近くの学生さん達が参加してくれました。

震災の年から毎年今まで学校としてボラバスに取り組んでくれている茨城県立岩瀬高校と栃木県立小山北桜高校、本当に素晴らしい先生方と出会えた事を嬉しく思います。

もしかするとまたすぐに復活するかもしれませんが(^-^;・・今までボラバスを支えて下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

多くの人と出会い、本当に多くの事を学ばせて頂く事が出来ました。口だけで何もしない私を温かく受け入れてずっと一緒に活動して下さった多くの皆様には本当に感謝の気持ちしかありません。

会社のスタッフにも心を共有し、共に支えてくれた事感謝の気持ちでいっぱいです。

支えて下さった全ての皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからの人生を恩返しの人生として可能な限り生きていきたいと思えます。

ボラバスを運行していた震災の年の11月、入院手術をした時に術後、見舞いに来てくれた会社のスタッフも心配する程厳しい状況になってしまった時に思わず弱音をばく私を救ってくれたのはボラバスにも参加し続けて下さったあるタウン紙の記者さんの書いてくれた記事とその記事を読んだ看護師さんの涙を浮かべながら言ってくれた「絶対大丈夫！ボランティアの人や被災地の人達が待ってますよ！信じ合える仲間の所に早く良くなって戻りましょ！」生涯忘れる事の出来ない救いの言葉でした。

本当にいろいろな事があった9年間でした。

そしてただただ感謝の9年間でした。

長々と書いてしまい申し訳ございませんでした。本当に全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

石塚サン・トラベル株式会社

代表取締役 綿引薫

追伸

昨日もしかするとボラバス最終便との事で大学の応援団時代の先輩、同期、後輩が駆けつけて下さいました。野蒜海岸で本当にサプライズで最後に応援歌とエールをおくってくれましたが、これが応援団の真髄だと本当に泣きそうになりました。やはり東海魂は不滅であります！m(_ _)m

